



第 **140** 期 中間報告書
株主のみなさまへ

第2四半期連結累計期間
2015年4月1日～2015年9月30日【2015年度】



証券コード：6841

横河電機株式会社

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当中間期(第2四半期連結累計期間)は、エネルギーと素材関連を主要市場とする制御事業を中心に、中期経営計画「Transformation 2017」に基づき、積極的な事業活動を展開しました。主力の制御事業が堅調なことに加え、円安の影響および前年度に実施した固定費削減施策の効果などにより、売上高、営業利益、経常利益ともに前年度と比べ増加となりました。営業利益、経常利益については、中間期として過去最高益を更新しています。また親会社株主に帰属する四半期純利益も、営業利益の増加に加え、固定資産売却に伴う特別利益の増加などにより前年度と比べ増加しました。

さて、当社グループは本年9月1日に創立100周年を迎えました。これまで100年にわたり事業を継続することができたのは、株主の皆様をはじめ、多くの皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。このたび、株主の皆様への感謝の意を込めまして100周年記念配当の実施を決定しました。現在の経営状況に鑑み、普通配当の増配と記念配当を合わせ、中間期として12円50銭の中間配当を実施いたします。

この大きな節目の年にあって、当社グループは10年後の「ありたい姿」とその実現に向けた考え方をまとめた長期経営構想を策定し、2017年度を最終年度とする中期経営計画での3年間で成長基盤を整備し、収益性向上に重点を置いた積極的な事業活動を展開しています。また、「企業は社会の公器である」との考えのもと、健全で持続的な成長により、株主の皆様をはじめとするステーク



取締役会長

海堀 周造

代表取締役社長

西島 剛志

ホルダーからの社会的信頼に応えていくことを企業経営の基本的使命と位置付けています。その基本方針として「YOKOGAWAコーポレートガバナンス・ガイドライン」を制定し、中長期的な企業価値の向上に向けて、コーポレートガバナンスの継続的な充実に取り組んでいます。

まずは中期経営計画「Transformation 2017」の目標達成と、健全で持続的な成長の実現に向けて、株主の皆様のご期待に沿えるよう事業の一層の拡大と企業価値の向上にまい進していきますので、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月

第2四半期
決算のポイント

- 増収増益
- 営業利益は中間期として過去最高を更新

	2014年度(中間期)	2015年度(中間期)
受注高	2,053億円	2,167億円
売上高	1,844億円	2,022億円

	2014年度(中間期)	2015年度(中間期)
営業利益	103億円	205億円
親会社株主に帰属する四半期純利益	76億円	161億円

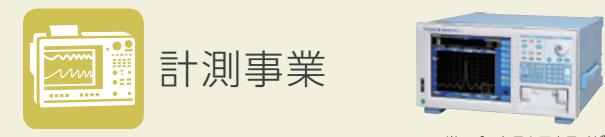


制御事業

- 主なソリューション・製品
- ◎生産管理ソリューション ◎品質管理ソリューション ◎設備管理ソリューション
 - ◎エネルギー管理/最適化ソリューション ◎操業支援ソリューション
 - ◎生産制御システム ◎安全計装システム ◎差圧・圧力伝送器 ◎流量計 ◎レコーダ など

	2014年度(中間期)	2015年度(中間期)
受注高	1,821億円	1,942億円
売上高	1,630億円	1,812億円
営業利益	97億円	195億円
売上高営業利益率	5.9%	10.8%

資源・エネルギー・素材関連投資の増加やプラント設備関連の更新および運用・保守サービス需要の増加などを背景に、海外市場・日本市場ともに堅調に推移し、受注高、売上高ともに増加。増収に加え、円安の影響および固定費削減施策の効果などもあり増益。



計測事業

- 主な製品
- ◎波形測定器 ◎光通信測定器 ◎電力・温度・圧力測定器 ◎創業支援システム
 - ◎共焦点スキャナユニット など

	2014年度(中間期)	2015年度(中間期)
受注高	111億円	130億円
売上高	113億円	111億円
営業利益	7億円	11億円

売上高は前年並み。主に円安の影響により増益。



航機その他事業

- 主な製品
- ◎航空機用計器 ◎航海関連機器
 - ◎気象・水文観測機器

受注高95億円 売上高99億円 営業損失1億円

2015年4月～9月の当社グループの活動の中から
主なものをご紹介します。 ※日付は発表日です。

受注

- F-グリッド宮城・大衡向け地域エネルギー
マネジメントシステム納入(7月13日)
- 北欧のLNGプラント向けに、世界で初めて
国際安全規格SIL2に対応した無線ガス
検知システムをガスセキュア社とともに
納入(7月23日)
- ブラジル最大のバイオマス発電プラント向け
制御システム受注(9月8日)
- 旭化成ケミカルズ水島製造所向け
「ネットワーク健全性確認サービス」受注
(9月28日)

提携

- インドネシア公共事業省水供給開発局と
パートナーシップ契約を締結(4月17日)
- シェル社と共同で次世代の高度制御
ソリューション「Platform for Advanced
Control and Estimation」を開発(6月4日)
- BP社とグローバルMAC*サービス
契約更新(9月24日)

*制御担当会社(MAC: Main Automation Contractor)

新製品

- レーザガス分析計
「TDLS8000」発売
(4月24日)
- オンライン厚さ計
「WEBFREX NV」発売
(5月14日)
- 小型汎用デジタルパワーメータ
「WT300Eシリーズ」発売(8月24日)
- 光スペクトラムアナライザ「AQ6375B」
開発・発売(9月25日)
- 非染色生細胞画像から細胞の状態解析が
可能なソフトウェア「CellActivision™」発売
(9月30日)

その他

- 長期経営構想、および新中期経営計画
「Transformation 2017」を発表(5月12日)
- フィンランドのチップマンテクノロジー社
から非染色画像解析技術を獲得(6月30日)
- コーポレート・ブランド・スローガン
「Co-innovating tomorrow」を制定(8月28日)

IR活動-Topics

「YOKOGAWAレポート」を発行(9月1日)

当社グループの中長期的な価値創造に向けたプロセスを、
株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様にご理
解いただくことを目的に「YOKOGAWAレポート」を発行しました。

「YOKOGAWAレポート」は、これまで「アニュアルレポート」で報告して
きた業績や経営計画などの財務情報に加え、長期的なビジョンや中長期の
経営戦略、コーポレートガバナンス、CSR活動などの非財務情報をさらに拡
充しています。

本レポートは、下記ウェブサイトよりダウンロードしてご覧いただけます。

<http://www.yokogawa.co.jp/cp/ir/yr2015/index.htm>

個人投資家様向け会社説明会を開催(9月10日)



個人投資家様に向けた会社説明会を野村證券吉祥寺支
店で開催しました。当社に対する理解を深め、地域に根差
した企業として長期的なご支援をいただくことを目的
に、本社がある武蔵野市周辺に在住の個人投資家様約35名
にご参加いただきました。説明会では、当社の事業内容や
中期経営計画の概要などについて説明しました。



Co-innovating tomorrow™

YOKOGAWAは、創立100周年を迎えた
2015年に、新たなコーポレート・ブランド・
スローガン「Co-innovating tomorrow」
を制定しました。

「Co-innovating」には、お客様とともに
長期的なパートナーシップを育みながら、
課題解決のための新しい価値を共創して
いくというYOKOGAWAの強い意志が込
められています。

「tomorrow」は、着実に一步一步積み
重ねていくことこそが、明日という未来
に結びつくという信念を表しています。

YOKOGAWAは、「Co-innovating
tomorrow」をコーポレート・ブランド・
スローガンとして掲げ、ビジネスや社会
における情報やモノの流れを最適化、効率
化し、お客様と社会全体の課題解決に取り
組んでいきます。

コーポレートガバナンス充実に向けた当社の取り組み

企業価値の最大化の実現に向けて「YOKOGAWAコーポレートガバナンス・ガイドライン」を制定しました。

当社グループは「企業は社会の公器である」との考えのも
と、健全で持続的な成長により、株主、お客様、取引先、社会、社
員等全てのステークホルダーからの信頼に応えていくことを
企業経営の基本的使命と位置付けています。

企業価値の最大化を実現するためには、コンプライアンス
の徹底、リスクの適切な管理、株主の皆様をはじめとするス
テークホルダーとの建設的な対話のための情報開示等が重要

になります。そのため当社グループでは、これまでのコーポ
レートガバナンスの取り組みを改めて体系化し、コーポレー
トガバナンスの継続的な充実に取り組んでいくための基本方
針として本ガイドラインを制定しました。

詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.yokogawa.co.jp/cp/corporate/cp-corp-governance.htm>

配当金について

100周年記念配当を実施します

株主の皆様へ感謝の意を込め、100周年記念配当の5円、お
よび普通配当の1円50銭増配を含め、12円50銭の中間配当を実施
いたします。また、期末配当につきましても普通配当を1円50銭増配
して7円50銭を予定しています。

	中間	期末(予想)	年間(予想)
平成28年3月期 配当金	普通配当 7円50銭 記念配当 5円00銭	普通配当 7円50銭	普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭 合計 20円00銭



1株当たり配当金の推移



※1 90周年記念配当5円00銭を中間配当に含む。
※2 100周年記念配当5円00銭を中間配当に含む。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 2015年9月30日	前連結会計年度末 2015年3月31日	増減
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	60,400	76,093	△15,693
受取手形及び売掛金	141,691	143,133	△1,442
その他	52,873	51,269	1,604
固定資産			
固定資産	161,313	169,461	△8,148
資産合計			
資産合計	416,277	439,957	△23,680

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	増減
売上高	202,174	184,381	17,793
売上原価	115,697	107,728	7,969
売上総利益	86,477	76,652	9,825
販売費及び一般管理費	66,015	66,366	△351
営業利益	20,462	10,286	10,176
経常利益	21,005	10,920	10,085
特別利益	901	1,112	△211
特別損失	216	232	△16
税金等調整前四半期純利益	21,690	11,800	9,890
法人税等	4,807	3,234	1,573
四半期純利益	16,882	8,566	8,316
非支配株主に帰属する 四半期純利益	820	957	△137
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16,061	7,608	8,453

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 2015年9月30日	前連結会計年度末 2015年3月31日	増減
負債の部			
流動負債			
短期借入金	26,813	24,373	2,440
その他	118,301	140,200	△21,899
固定負債	27,244	53,407	△26,163
長期借入金	15,787	40,898	△25,111
その他	11,457	12,509	△1,052
負債合計	172,359	217,981	△45,622
純資産の部			
株主資本			
利益剰余金	129,139	114,638	14,501
その他	96,086	82,726	13,360
その他の包括利益累計額	11,550	18,178	△6,628
非支配株主持分	7,142	6,433	709
純資産合計	243,918	221,976	21,942
負債純資産合計	416,277	439,957	△23,680

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	△4,296	13,337	△17,633
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,574	△3,164	590
財務活動による キャッシュ・フロー	△6,570	△1,999	△4,571
現金及び現金同等物に 係る換算差額(△は減少)	△1,400	671	△2,071
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△14,842	8,844	△23,686
現金及び現金同等物の 期首残高	74,722	55,857	18,865
現金及び現金同等物の 四半期末残高	59,880	64,702	△4,822

株式の状況

(2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	600,000,000 株
発行済株式の総数	268,624,510 株
株主数	21,495 名

大株主

(上位10名、敬称略)

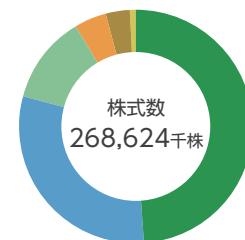
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	30,381,500	11.39
第一生命保険株式会社	15,697,000	5.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,146,700	5.30
日本生命保険相互会社	13,484,615	5.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	12,142,600	4.55
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	11,261,000	4.22
横河電機持株会	6,734,281	2.52
シービーニューヨーク オービス エスアイシーアーヴィー	5,662,914	2.12
ピーエヌワイエムエル ノン トリーティアー アカウント	3,593,500	1.35
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	3,461,600	1.30

※当社は自己株式を1,890,555株所有していますが、上記の持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



会社概要

(2015年9月30日現在)

商号	横河電機株式会社
英文社名	Yokogawa Electric Corporation
創立	大正4年(1915年) 9月1日
設立	大正9年(1920年) 12月1日
資本金	43,401,056,425円
従業員数	18,746名(連結) 2,519名(個別)
本社	〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32
関係会社数	海外73社 国内14社

役員一覧

(2015年9月30日現在)

取締役会長	海堀 周造	常務執行役員	鈴木 周志
代表取締役社長	西島 剛志		
取締役専務執行役員	黒須 聡	執行役員	山崎 正晴
取締役	奈良 寿		伊東 千明
取締役常務執行役員	中原 正俊		渡辺 肇
取締役執行役員	穴吹 淳一		前村 幸司
社外取締役	浦野 光人		西村 稔
	宇治 則孝		野中 昭信
	関 誠夫		森 修司
常勤監査役	小柳 敬史		
	牧野 清		
社外監査役	麻崎 秀人		
	穴戸 善一		
	山下 泉		

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会および期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他、必要がある場合は、あらかじめ公告します。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
株主名簿管理人および特別口座の管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲1-2-1 みずほ信託銀行株式会社

証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。

お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします(みずほ証券で単元未満株式の買取請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります)。

なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

お取扱店

みずほ証券株式会社
本店および全国各支店、プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
みずほ信託銀行株式会社
本店および全国各支店

未払配当金の お支払

みずほ信託銀行株式会社
本店および全国各支店
株式会社みずほ銀行
本店および全国各支店(みずほ証券ではお取次のみとなります)

公告方法

電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告します。

配当金に関するお知らせにつきましては、
当社ウェブサイトにてご案内しております。

本報告書に掲載されている当社および当社グループの計画、見通し、戦略、判断などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現時点で入手可能な情報から得られた経営者の判断によるものです。実際の業績は、経済情勢や為替相場などさまざまな要因によって、これらの見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

【お知らせ】単元未満株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式(100株未満の当社株式)につきましては、市場で売却することはできませんが、当社が買い取ることや、買い増していただき単元株式に整理することが可能です。お手続き方法やご不明な点につきましては、お取引の証券会社またはみずほ信託銀行株式会社(左記)にお問い合わせください。なお、お手続きにあたり当社が手数料をいただくことはありません。

単元未満株式の
買取請求

株主様がをお持ちの単元未満株式を当社が市場価格にて買い取りいたします。

単元未満株式の
買増請求

株主様がをお持ちの単元未満株式と合わせて100株になるよう不足分を当社が市場価格にて株主に売却いたします。

ウェブサイトのご案内

当社に関するさまざまな情報をご覧いただけます。

<http://www.yokogawa.co.jp/>

100周年記念サイト

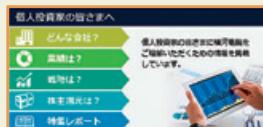
<http://www.yokogawa.co.jp/100th/>



IR情報

個人投資家の皆様へ、当社をご理解いただくための情報を掲載しております。

<http://ir.yokogawa.jp/>



YOKOGAWAレポート2015を公開しています。

<http://www.yokogawa.co.jp/cp/ir/yr2015/index.htm>

※ウェブサイトにてアンケートを実施しております。
皆様のご意見をお聞かせください。



IR情報メール配信登録のご案内

投資家の皆様へ当社の情報を迅速にお届けするために、横河電機IR情報メールを配信しております。ご登録は当社ウェブサイト・IR情報にて承っております。

横河電機株式会社

コーポレート・コミュニケーション室
〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32
【株主様専用電話】0422-52-5824 (平日 9:00~17:00)

UD
FONT
見やすい
ユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C013080